

製品名: ラブフィリン-3A (リン酸化 Ser237) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05323**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	RPH3A
別名	RPH3A; KIAA0985; Rabphilin-3A; Exophilin-1
遺伝子 ID	22895.0
SwissProt ID	Q9Y2J0
免疫原	抗血清は、ヒトラブフィリン 3A の Ser237 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 203-252

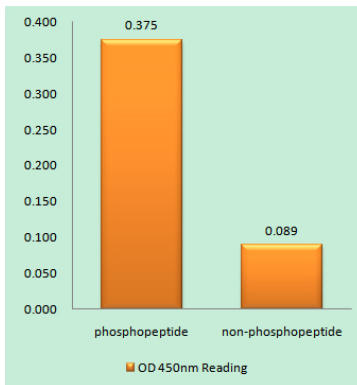
背景

神経伝達物質およびホルモンのエキソサイトーシスは、シナプス伝達および細胞間コミュニケーションの基礎となる。RAB3A (MIM

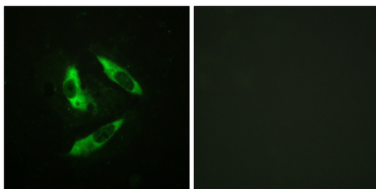
179390) は、エキソサイトーシスの後期に作用すると考えられる低分子Gタンパク質であり、RPH3AはRAB3Aのエフェクターである (Lin et al., 2007 [PubMed 17149709])。[OMIM提供、2008年7月],機能: タンパク質輸送。おそらく Ras 関連タンパク質 Rab-3A と共にシナプス小胞輸送および / またはシナプス小胞融合に関与している。神経終末における膜流動を調節することで神経伝達物質の放出に関与している可能性がある。類似性: FYVE 型ジンクフィンガーを1つ含む。類似性: RabBD (Rab 結合) ドメインを1つ含む。類似性: C2 ドメインを2つ含む。、

研究分野

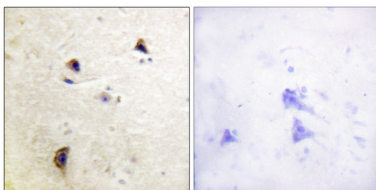
画像データ



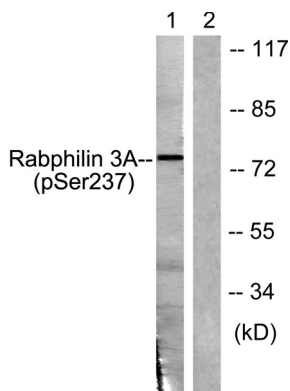
ラブフィリン 3A (リン酸化 Ser237) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



Rabphilin 3A (リン酸化 Ser237) 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



ラブフィリン 3A (リン酸化 Ser237) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



カリキュリン 100nM 15°処理した RAW264.7 細胞のライセートを、ラブフィリン 3A (リン酸化 Ser237) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。